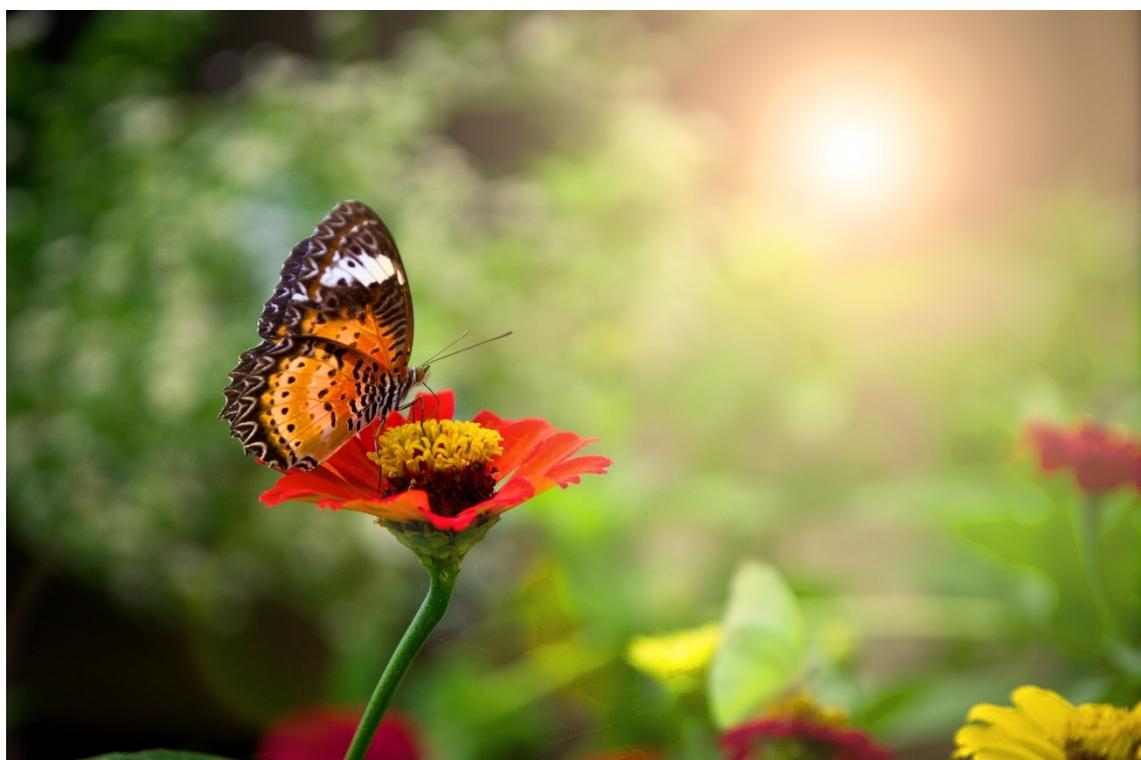


71 期  
環境レポート



**FUJITA**

株式会社新潟藤田組

## 1. 環境方針

### 株式会社新潟藤田組 環境方針

株式会社新潟藤田組は、エネルギーの効率的運用による環境負荷の低減と、産業廃棄物の排出を抑え、建設業としての事業活動を通じて以下の環境方針に基づき、新潟地域の環境対策に取り組み、地域社会の持続的発展に貢献できる企業を目指します。

1. 当社の業務運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防と環境保護を推進するとともに、環境対策活動の継続的改善を図ります。
2. 当社に関連する環境関連法規制などの要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。
  - (1) 二酸化炭素排出量の削減
  - (2) 資源のリサイクルや節約
  - (3) 環境美化活動の実施
  - (4) 法令順守
4. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境方針を全従業員に周知します。

上記の方針達成の為に目的を設定し、定期的に見直し、環境活動を推進します。

2017年3月31日  
株式会社 新潟藤田組  
取締役社長 藤田直也

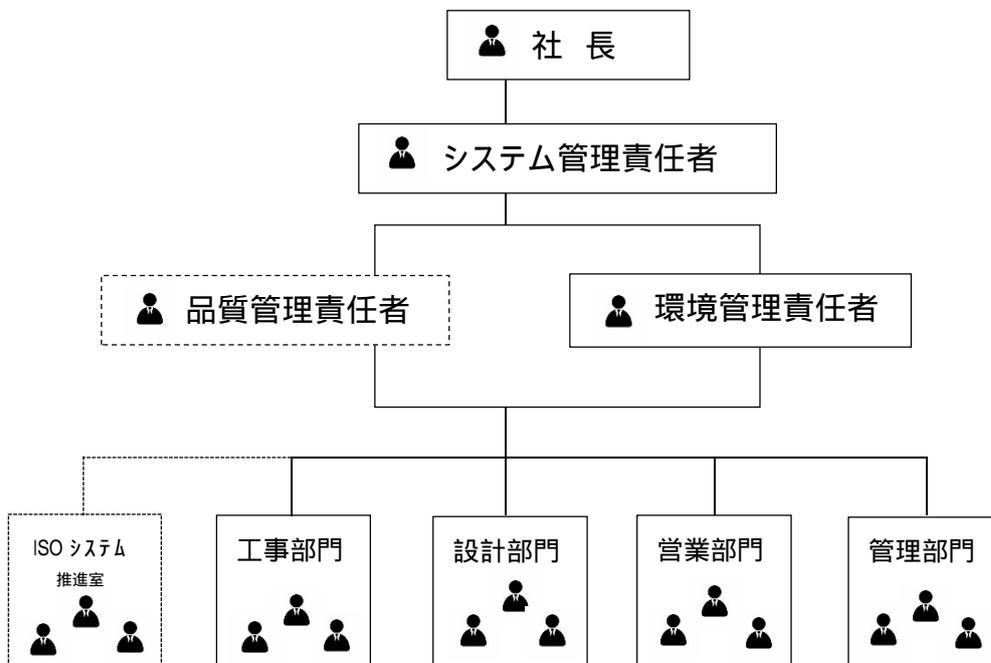
## 2. 企業概要 ・ 取り組み体制

### 企業概要

社名：株式会社 新潟藤田組  
 代表者：取締役社長 藤田 直也  
 所在地：新潟県新潟市中央区白山浦2-645-1  
 電話：025-266-1166  
 資本金：9,000万円  
 従業員数：98名(令和2年4月現在)  
 創業：大正14年10月

### 環境活動の取り組み体制

当社は、下図の組織体制で環境マネジメントシステムを運用します。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 新潟藤田組は「SDGs」に賛同しています。

新潟藤田組は、「我々は信頼の獲得を大切にし 会社と社員一人一人が 共に成長し発展し 建設事業を通じて社会に貢献する」という経営理念の基、SDGsの取り組みに賛同し、目標達成に貢献してまいります。事業活動のあらゆる側面と社会貢献活動を通じて、社会が抱える問題の解決を目指します。

## SDGs(持続可能な開発目標)とは

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」で、社会が抱える問題を解決し、2030年までに持続可能な世界を実現するための「17のゴール」と「169のターゲット」で構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

## 〈 新潟藤田組のSDGsへの取り組み 〉



自然エネルギーを活用し、  
環境に優しい会社を目指します。

- ・ 太陽光発電による再生可能エネルギーの持続的な普及への貢献
- ・ 土質改良「土のリサイクル」、土壤汚染対策の実施
- ・ ZEH、高気密高断熱住宅、省エネ住宅  
(断熱等性能等級4、一次エネルギー消費量等級5)
- ・ ISO14001 マネジメントシステムによる、CO2・電力使用量・事務用紙使用量削減への取り組み
- ・ 環境美化活動への取り組み  
(公園整備、信濃川をきれいにする会「クリーン作戦」参加、NPO 森林ボランティア参加)

### 3. 事業における環境活動

#### Plan (計画)

方針にもとづき以下の  
目標に向かって取り組みます。

- ①二酸化炭素排出量の削減
  - ②資源の節約
- 工事受注量を考慮した算出を行い、  
昨年度以下にする。
- 美化活動の実施  
美化活動の定例実施  
法令順守  
環境法令遵守

#### Do (実行)

- 具体的な取り組み事項
- 二酸化炭素削減の取り組み
  - ・発電設備等
    - 太陽光発電設備の活用
    - 西蒲技術センターに太陽光発電設備設置(2年11月稼働)
  - ・空調設備・運用等
    - クールビズ・冷暖房のこまめなオンオフ・
    - 業務効率化による節電
    - 空調設定を温度湿度で管理する
      - 冷房 28 以上、暖房 21 以下(厳冬期 24 以下)
      - ドライ湿度 80%以上、風力(弱)での運用
  - ・照明設備・運用等
    - 高効率照明設備の活用
    - 単独スイッチの活用
    - こまめな消灯・業務効率化による節電
  - ・車両選定・運用等
    - 低燃費車への入替
    - ハイブリッド車でのガソリン使用量の削減
    - アイドリングストップの実施
    - 燃費向上運転の指導・心がけ
    - 冷暖房の使用状況改善
  - ・その他
    - 啓発掲示物等の掲示
  - 資源の節約への取り組み
  - ・コピーFAXの運用等
    - 両面印刷、裏面印刷によるコピー用紙の削減
    - ミスコピー撲滅運動の実施
    - 電子化・ペーパーレス化の推進
  - ・その他
    - 啓発掲示物等の掲示
  - ・資源の有効活用等
    - ゴミ完全分別実施
    - 美化活動の実施
  - ・本社周辺及びキング公園の日々のゴミ拾い、維持管理の実施  
(冬期及び悪天候日を除く)
  - 法令遵守への取り組み
  - ・すべての作業所で環境法令を遵守する
    - 施工前検討会での確認
    - 担当者による遵守状況の確認
  - 著しい環境側面への対策
  - ・消火設備の点検管理と緊急時の対応・対策訓練実施

#### Action (見直し)

見直し、改善を図ります。

- ①二酸化炭素排出量の削減
  - ②資源の節約
- 工事受注量を考慮した算出を行い、  
昨年度以下にする。
- 美化活動  
昨年同様に実施  
法令遵守  
昨年同様に違反等皆無にする

#### Check (点検)

- 目標と実績とを比較します
- 対象期間 31年3月1日～2年2月29日
- 二酸化炭素排出量  
暖冬により、暖房器具の使用が減ったこともあり  
電気使用量が減少した  
前年度実績比 1,573kwh 減少  
ガソリン使用量  
1Lあたりの走行距離は前年度実績とほぼ同様だった  
コピー用紙の使用量  
使用枚数/完成工事高比で前年度実績より0.000020 減少  
(ペーパーレスの推進)
- 美化活動  
美化活動の定例実施  
実績:本社周辺・近隣公園のゴミ拾い、アダプト活動の実施  
法令遵守  
環境法令遵守の確認  
実績:環境法会の違反等無し

## 4. CO<sup>2</sup>排出量チェックシート (71 期実績)

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・中越(営)・西蒲(営)

### 電気・ガソリン使用量

	前期	当期目標	当期実績	削減量目標	達成数値 (前期に対する当期実績)
電気	70,519kwh	70,519kwh	68,946kwh	前期実績以下	1,573kwh 減少
ガソリン (社有車)	19.2km	19.2km	19.7km	前期実績より 向上	+ 0.5km

1 ガソリン使用量については、1Lあたりの走行距離(全社平均)としている

### その他環境に影響するもの

	前期	当期目標	当期実績	削減量目標	達成数値 (前期に対する当期実績)
コピー用紙 (A4 換算)	571,500 枚	571,500 枚	548,500 枚	前期実績以下	23,000 枚減少
	0.000135	2 0.000135	3 0.000115		0.000020 減少

2 完成工事高・使用枚数比 前年実績の 0.000135 以下にする。

前年実績 (0.000135) = 使用枚数 (571,500 枚) ÷ 完成工事高 (4,223 百万円)

3 当期実績 (0.000115) = 使用枚数 (548,500 枚) ÷ 完成工事高 (4,784 百万円)

## 5. 71 期年間成果

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・中越(営)・西蒲(営)

### 電気・ガス・ガソリン

#### 電気

前期より 1,573kwh 減少。

71 期は暖冬により暖房器具の使用が減ったこともあり、電気使用量は減少した。72 期も猛暑・暖冬が続くかと思われるが、室温管理をこまめに行うと共に、より一層の業務効率化に努めるなど消費電力の削減に努める。

また、71 期は西蒲技術センターにシステム容量 95.6k w の太陽光発電設備を設置し、令和 2 年 11 月より稼働開始した。

11～2 月発電量 20,572k w h

#### ガソリン

1L あたりの走行距離(全社平均)は前期とほぼ同様だった。0.5km 増省エネ車への入替え、省エネ運転、アイドリングストップ活動の推進を行い燃費維持が出来た。数値目標とはしていないが、参考数値として引き続き全社にて取り組んでいく。

### その他環境に影響するもの

#### コピー用紙

当期実績 0.000020 減( = 使用枚数÷完成工事高)。

完成工事高と使用枚数比で前期実績以下を目標とする。

具体的な施策では、ミスコピー撲滅運動、白紙裏紙の活用、電子化・ペーパーレス化の推進等。

- ・ ゴみの完全分別(本社)

本社分別実施 100%。

啓発掲示物等の設置。分別処理と対応するゴミ箱の明示等(可燃ごみ、不燃ごみ、再生紙、シュレッダー)。

- ・ 環境美化活動

本社周辺及びキング公園を清掃可能な天候の日には毎朝実施。

アダプトプログラムの実施等。